

令和2年度 文教委員会資料

【所管事務の調査（報告）】

川崎市市民ミュージアムの再建及び収蔵品レスキューの状況について

資料1 川崎市市民ミュージアムの再建について

資料2 川崎市市民ミュージアム収蔵品レスキューの状況について

市 民 文 化 局

(令和2年12月7日)

令和2年11月16日（月）に行われた学識者で構成される「第3回川崎市文化芸術振興会議市民ミュージアムあり方検討部会」において、市民ミュージアムの再整備について「等々力緑地で収蔵庫だけでなく展示等を行う等の博物館、美術館の運営は難しい」との意見が示されたことを受け、庁内での検討を行い、方向性がまとまりましたので、報告いたします。

【検討の経緯】 施設の現状：築30年以上経過しており、経年劣化の影響による雨漏り、壁面タイルの剥がれなどが頻繁に発生する状態であり、さらに、令和元年東日本台風（令和元年10月12日）により、市民ミュージアムの地階に大量の雨水が流入し、収蔵庫及び機械室、電気室等の主要な設備室に浸水し、館内の電気設備等が使用不能となり、現在は館外に仮設キュービクル（受変電設備）を設置し、必要最小限の電力を供給し修復作業等を行っている。

立地に係る主な課題

- ・ 現施設は、平成30年3月改定の洪水ハザードマップ（多摩川水系）によれば2階まで浸水するおそれがあるため、収蔵品等がある展示室や収蔵庫、収蔵庫の温湿度管理に必要な機械室等を3階に整備する必要があるが、構造耐力上、収蔵庫を3階へ整備することは困難である。
- ・ 現施設に増築し、増築部分の3階以上に展示室等を整備する場合、周囲の緑地を保全する必要があることなどから、限られた敷地内で増築するため高層化が必要となり、高さ制限を大幅に超過する、等の課題がある。

第1回あり方検討部会（7/28）

【現施設の課題】

- ・ 台風による施設の被害状況
- ・ 施設の老朽化
- ・ 劣化調査結果
- ・ 立地について
- ・ 文化芸術振興会議による文化アセスメントから提言
- ・ 等々力緑地再編整備事業について
- ・ 現施設を使用するには

【委員から】

ハード面の様々な課題があるが、あの場所に残していくのか、別の場所に移すのか、今後議論が必要になる。

第2回あり方検討部会（9/29）

【現地視察後の主な意見 現施設での再開館について】

- ・ 継続的に維持していくことについては慎重な判断が必要
- ・ 現施設での再開館は困難
- ・ 現施設を活用する場合の整備手法

【委員から】

- ・ 全体的には保存を考えると大変危険な場所なので、この場所の整備は難しいと考える。
- ・ 現時点では、現施設の活用の余地を残しつつ、収蔵機能は外に出しつつ、外に出して離れ離れにならないように、学芸機能を高めるとするのが選択肢にある。
- ・ **収蔵品に関しては、この場所で扱うことは困難である。**

第3回あり方検討部会（11/16）

【現施設について】

- ・ 収蔵庫と展示室を離れた場所に整備した美術館及び博物館の事例について説明し、市として被災リスクの少ない場所で収蔵庫と展示室を同じ施設内に整備することが望ましい。
- ・ 再整備に向けた整備手法として、現施設に増築案、等々力緑地外に移転案（複合、単館）について説明

【委員から】

- ・ **等々力緑地で収蔵品だけでなく、展示等を行う等の博物館、美術館の運営は難しい。**
- ・ 基本的に展示室及び収蔵庫に関しては、同じ施設内で整備が望ましい。しかし、今後も収蔵品は増えていくことを考えると分散の可能性は否定しない方がよい。
- ・ 被災リスクは、水害だけでなく地震等も考慮したほうがよい。

「現施設でのミュージアム機能の再開は行わない」ものとし、被災リスクの少ない場所での再建を行う方向で博物館機能、美術館機能について、あり方検討部会で検討を進める。また、現施設については、施設の利活用の可能性について、庁内に照会を行う等の手続きを進める。

川崎市市民ミュージアム 収蔵品レスキューの状況について

川崎市市民ミュージアムは、令和元年東日本台風により、地階に設置された収蔵庫が浸水し、建物や設備のみならず、収蔵品にも大きな被害が発生しました。定期的な報告として、11月25日現在の状況をお知らせいたします。

1 収蔵品レスキューのこれまでの経過、対応内容

(1) 主な経過

令和元年	10月22日	収蔵品レスキュー開始
	10月23日	文化庁へ救援等にかかる技術的支援の要請
	10月24日	文化庁文化財等災害対策委員会により技術的支援を実施決定
	11月14日	外部支援団体によるレスキュー開始
	11月30日	施設前広場に仮設ユニットハウスを設置（資料の応急処置や一時保管に活用）
	12月6日	施設前広場に冷蔵・冷凍コンテナを2機設置（紙資料等の冷凍保存に活用）
	12月11日	常設展示室で展示していた収蔵品を館外へ搬出、保管
令和2年	1月14日	閉鎖していた収蔵庫1から民俗資料レスキュー開始
	1月22日	外部冷凍倉庫（川崎市内）への搬出
	1月23日	収蔵庫2から考古資料レスキューを本格的に開始
	2月18日	施設前広場に冷蔵・冷凍コンテナを1機追加設置（計3機）
	2月27日	1階ラウンジ内に燻蒸庫を設置（資料の燻蒸処理に活用）
	3月2日	燻蒸開始
	5月25日	燻蒸庫を企画展示室2に移設し拡充
	6月4日	燻蒸が完了した民具等を本市他施設に移送開始
	6月19日	収蔵庫からの搬出完了
	6月27日	応急処置済みの収蔵品を外部倉庫へ移送開始
	7月1日	真空凍結乾燥に関する講習会を外部支援団体の施設にて実施
	8月1日	冷凍保管中の紙資料の真空凍結乾燥処理を外部支援団体の施設にて開始

(2) 支援団体

これまでに支援いただいた団体

文化遺産防災ネットワーク推進会議（10団体）	その他支援・協力団体（6団体）
独立行政法人国立文化財機構	神奈川県博物館協会
独立行政法人国立美術館	日本大学芸術学部写真学科
大学共同利用機関法人人間文化研究機構	東京大学史料編纂所
国立国会図書館	学校法人専門学校 東洋美術学校
公益財団法人日本博物館協会	学校法人帝京大学
公益社団法人日本図書館協会	神奈川地域資料保全ネットワーク
全国美術館会議	
全国歴史民俗系博物館協議会	
特定非営利活動法人 文化財保存支援機構（JCP）	
一般社団法人国宝修理装演師連盟	

2 収蔵品のレスキュー状況（令和2年11月25日現在）

（下線：前回からの更新箇所）

（1）収蔵品の応急処置及び修復状況

分野	被災収蔵品数 (約)	応急処置済 (約)	修復中 ※1	修復済 (修復不要)
歴史	29,200	700	0	7
民俗	20,900	20,000	0	0
考古	71,600	<u>6,490</u>	<u>24</u>	<u>27</u>
美術文芸	11,300	6,600	132	2
グラフィック	10,000	4,450	23	0
写真	8,600	1,100	172	0
漫画	63,100	3,020	1,676	0
映画	12,600	5,400	0	0
映像	1,700	670	0	0
合計	229,000	<u>48,000</u>	<u>2,027</u>	<u>36</u>

※1 修復前準備中を含む。

（2）収蔵品の保管状況

外部倉庫 ※ 約 42,000 点

冷凍・冷蔵保管 約 1,200 箱

※ 温湿度管理が可能な施設及び本市他施設。

（3）レスキュー支援体制

レスキューに入った延べ人数：

・指定管理者 約 4,500 人

・川崎市職員 約 1,300 人

・外部支援団体 約 2,100 人

合計 約 7,900 人

3 収蔵品のレスキュー状況概要（令和2年11月25日現在）

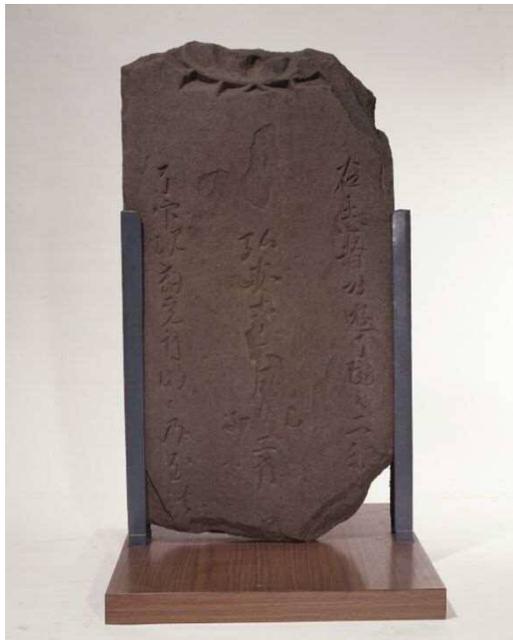
（★：前回からの更新箇所）

【指定文化財】

現状	資料名
修復済 (修復不要)	★市重要歴史記念物「板碑（弘安2年銘）1基」（写真1） ★市重要歴史記念物「有馬古墓群後谷戸グループ古墓出土火葬骨蔵器」22点 (写真2)
修復中	★市重要歴史記念物「宿河原縄文時代低地遺跡出土品」大型網籠ほか21点
応急処置済	<ul style="list-style-type: none"> ・市重要歴史記念物「古筆手鑑「披香殿」解体して洗浄 ・市重要郷土資料「獅子頭（3頭）」 ・市重要郷土資料「大師河原の漁撈具（131種457点）」 ・市重要歴史記念物「有馬古墓群台坂上グループ古墓出土火葬骨蔵器」 ・市重要歴史記念物「生田古墓群鴛鴦沼古墓出土火葬骨蔵器」 ・市重要歴史記念物「生田古墓群生田8601番地古墓出土火葬骨蔵器」のうち 須恵器壺・蓋 ・市重要歴史記念物「菅生古墓群長沢1822番地古墓出土火葬骨蔵器」 ・市重要歴史記念物「稗原古墓群A地点古墓出土火葬骨蔵器」 ・市重要歴史記念物「細山坂東谷古墓出土火葬骨蔵器」 ★市重要歴史記念物「梶ヶ谷神明社上遺跡出土品」 ★市重要歴史記念物「野川古墓群野川南耕地A地点古墓出土火葬骨蔵器」

写真1 板碑（弘安2年銘）

被災前



修復済（修復不要）



写真2 有馬古墓群後谷戸グループ古墓出土火葬骨蔵器

被災前



修復済（修復不要）



【歴史】

現状	資料名等
応急処置済	<ul style="list-style-type: none"> ・上田家文書約 80 件 ・浮世絵、瓦版、卷子、絵図など 55 点 ・「東海道五十三次図屏風」、「四季耕作図屏風」などの屏風 4 点 ・影向寺古材、建築部材等、小泉橋関係資料 ・電化製品など約 500 点
応急処置中	★冷凍保管中の古文書等コンテナボックスより約 100 箱を解凍して乾燥中
冷凍保管中	★古文書等コンテナボックス 約 590 箱 （上小田中村 原茂氏所蔵文書関連、岡上村 梶家関連、長尾村 鈴木恕家文書等） <ul style="list-style-type: none"> ・江戸時代の村絵図などの絵図類約 30 点 ・「市政だより」167 点 11 袋 ・「横浜貿易新報」30 件

【民俗】

現状	資料名等
応急処置済	<ul style="list-style-type: none"> ・掛軸 77 点 ・民具等のうち約 20,000 点
応急処置中	・民具等を水洗、乾燥、燻蒸中
冷凍保管中	・紙資料 コンテナボックス 34 箱

【考古】

現状	資料名等
修復中	★五鈴鏡（青銅製）、圭頭太刀
応急処置済	★洗浄乾燥済（590 箱）
応急処置中	★順次、洗浄・乾燥（4,410 箱）

【美術文芸】

現状	資料名等
修復中	<ul style="list-style-type: none"> ・安田鞞彦「草薙の剣」「小鏡子」「神農」3点 ・大矢紀「春彩」「活火風声」「天地胎動」 ★大矢紀「神山」、「騰雲湧煙」 ★安田鞞彦 「佐久良」など 124点
応急処置済	<ul style="list-style-type: none"> ・まどみちお 1,000点 ・田中岑油彩画 10点、パステル 108点 ・岡コレクション浮世絵 337点 ・市内作家画稿（石渡風古 他） 411点 ・安田鞞彦 476点 ・岡本かの子、佐藤惣之助 書など 30点 ・濱田庄司、安田鞞彦関連資料 30点 ・斎藤寿一版画、スケッチ 120点 ・田中岑「記憶」 ・江戸・明治の版画 1,000点 ・濱田庄司作品の陶器や沖縄の焼物など約 400点を外部倉庫へ移送 ・大矢紀 25点や結城天童の作品の大型作品計 46点 ・渡辺豊重「虚形」、江戸時代・明治時代の版画、それら関連作品や資料約 1,300点
冷蔵保管中	<ul style="list-style-type: none"> ・書籍類（岡本かの子他） 20箱 ・掛軸 42点 ・まどみちお、佐藤惣之助、岡本かの子の文学資料計約 1,200点 ・文学雑誌、書籍約 3,300点 ・市縁作家スケッチ 10箱 ・小中学生の絵画作品 12箱

【グラフィック】

現状	資料名等
修復中	<ul style="list-style-type: none"> ・ロートレック「アンバサドゥールのアリストテイド・ブリュアン」 ・ロートレック 6点
修復前準備中	<ul style="list-style-type: none"> ・ロートレック 12点 ・アール・ヌーヴォー、現代版画など 5点
応急処置済	<ul style="list-style-type: none"> ・アール・ヌーヴォー 204点 ・アール・デコ 288点 ・現代版画 405点 ・マガジカバー 681点 ・日本の現代作家 1821点 ・プロパガンダ 137点 ・その他（オリンピックポスター、海外のポスターなど） 885点
冷凍保管中	<ul style="list-style-type: none"> ・美術雑誌などの貴重書籍の約 670点（ロートレック『無精』、『自由の重荷』（表紙）など） ・引出から出した約 6,000点

【写 真】

現状	資料名等
修復中	<ul style="list-style-type: none"> ・19世紀の鶏卵紙（「遣欧使節団」フィリップ・ポトー、フェリーチェ・ベアト、上野彦馬、日清戦争写真アルバム、ファー・イースト等）110点 ・ダゲレオタイプ・アンプロタイプ11点 ・プラチナ・プリント（ピーター・ヘンリー・エマーソン）2点 ・印刷物（イラストレイテッド・ロンドン・ニュース）1点 ★19世紀の鶏卵紙（ジュリア・マーガレット・キャメロン、ウジェーヌ・アジエ、エドゥアール＝ドニ・バルデュス等）27点 ★ゼラチン・シルバー・プリント（日露戦争写真アルバム、ベルトン&ヒラ・ベッヒャー、ルイス・ハイン、深瀬昌久等）21点
応急処置済	<ul style="list-style-type: none"> ・19世紀の鶏卵紙（カールトン・E・ワトキンス等）、ゼラチン・シルバー・プリント（ウォーカー・エヴァンズ等）309点 ・木村伊兵衛写真賞受賞作品 587点 ・グラフ雑誌、写真関連貴重書籍 112点 ・カメラ機材 70点
冷凍保管中	<ul style="list-style-type: none"> ・ゼラチン・シルバー・プリント、発色現像方式印画、ダイ・トランスファー・プリント等 36箱 ・写真雑誌や貴重書籍、写真帖、関連資料等 102箱

【漫 画】

現状	資料名等
修復中	★漫画原画（岡本一平、清水崑等）200点
修復前準備中	★漫画原画（岡本一平、清水崑、楠勝平等）1,476点
応急処置済	<ul style="list-style-type: none"> ・収蔵庫で保管されていた漫画雑誌で浸水を免れたもの 2,571点 ・漫画原画（岡本一平） 250点 ・浮世絵 100点 ・絵画 50点 ・軸作品 50点
応急処置中	<ul style="list-style-type: none"> ・亜鉛版 1,000点を洗浄 ・箱詰めして館内保管中 800箱
冷凍保管中	<ul style="list-style-type: none"> ・約310箱 ・ジャパンパンチ等 250点（10箱） ・当館しか所蔵されていない漫画雑誌 523冊

【映 画】

現状	資料名等
応急処置済	<ul style="list-style-type: none"> ・神奈川ニュース等 924巻 洗浄、乾燥済 ・フィルム、約1,500件 洗浄済 ★未水没フィルム 195件 除菌済 ・久保一雄のスケッチ等 2,720点 ・映画ポスター33点
応急処置中	★井出雅人関連資料 3箱
冷凍保管中	★国内映画監督や脚本家の資料等コンテナボックス 59箱

【映 像】

現状	資料名等
応急処置済	★未水没フィルム 218 件 除菌済 ・日本映像カルチャーセンター関連作品 443 巻 ・日本映像カルチャーセンター関連資料 1 箱
応急処置中	・順次、簡易洗浄
冷凍保管中	・実相寺昭雄関連の脚本等

【借 用】

現状	資料名等
修復中	・犬塚勉展作品（油彩画・スケッチ）100 点